



誰もが楽しく幸せに6年間を過ごせる別府小学校
～全ての子どもに居場所がある学校づくり～
～学校だより 3月号 巻頭言として～

令和8年2月27日(金)
発行：摂津市立別府小学校
校長 河平 浩一

～この一年の歩みを胸に、次の春へ～

三寒四温の言葉どおり、寒さの中にもやわらかな春の気配を感じる季節となりました。早いもので、今年度も残すところあとわずかとなりました。日頃より、本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

子どもたちは今、一年間の学びを振り返りながら、次の学年へ向けての準備を進めています。できるようになったこと、挑戦したこと、うまくいかなかったことも含めて、その一つひとつが大切な成長の足跡です。ぜひご家庭でも、この一年の頑張りについてお子様と語り合っていただければ幸いです。

6年生は、いよいよ卒業の時を迎えます。最高学年として学校を支え、下級生のよき手本となってくれました。その姿は、別府小学校の誇りです。中学校という新たな舞台でも、自分らしく歩み続けてくれることを心より願っています。

さて、先日お知らせしました学校教育自己診断(保護者・児童アンケート)の結果では、多くの項目で昨年度より向上が見られました。これは、子どもたちの努力はもちろんのこと、日々支えてくださっている保護者の皆様のお力添えの賜物であると感じております。大切なお子様が多くの時間を過ごす学校として、その期待に応えられるよう、今後も教職員一丸となって取り組んでまいります。

また、2月14日(土)「べふっこ未来基金」のご支援により、視聴覚室にカーペットを敷設することができました。学校運営協議会の委員の皆様、そしてご協力くださった皆様に改めて深く感謝申し上げます。子どもたちが安心して集い、学び、語り合える空間として大切に活用してまいります。

新しくなった視聴覚室



今年度、教育委員会事務局での勤務を経て、初めて小学校の校長として別府小学校に赴任いたしました。子どもたちの成長を保護者の方々や地域の方々とともに、日々身近で感じられることの喜びを、改めて実感しております。子どもたちは一人ひとり、さまざまな思いを胸に登校しています。「友だちと一緒に遊ぼう!」「どんな事が学べるかな?」などと期待に胸を膨らませてくる子もいれば、「今日はお友だちと仲良くはなせるかな」など不安を抱えながら来る子もいます。中には様々な思いがあり、学校に行くことができなくなっている子もいます。その子どもたちはそれぞれが精一杯、今の時間を歩んでいます。

そのすべての子どもたちが、別府小学校の大切な存在です。

「誰もが楽しく幸せに6年間を過ごせる学校」

それは簡単なことではありません。しかし、この一年の歩みを通して、その実現に確かな一歩を踏み出せたと感じています。別府小学校の子どもたちは、確実に育っています。

次年度も、子どもたち一人ひとりの声に耳を傾け、対話を大切にしながら、教職員とともに歩み続けます。校長として、この学校の子どもたちの可能性を信じ、その成長を全力で支えていく決意です。この一年、本当にありがとうございました。

そして、次の春もまた、どうぞよろしくお願いいたします。